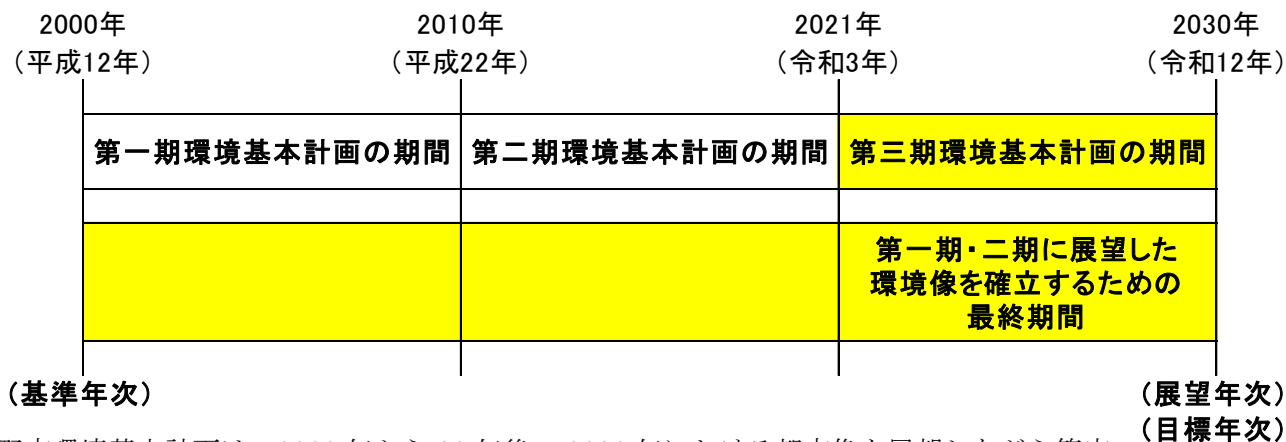


第三期環境基本計画策定の策定方針

■大野市環境基本計画における第三期計画の位置づけと検討する項目

○第三期計画の位置づけ

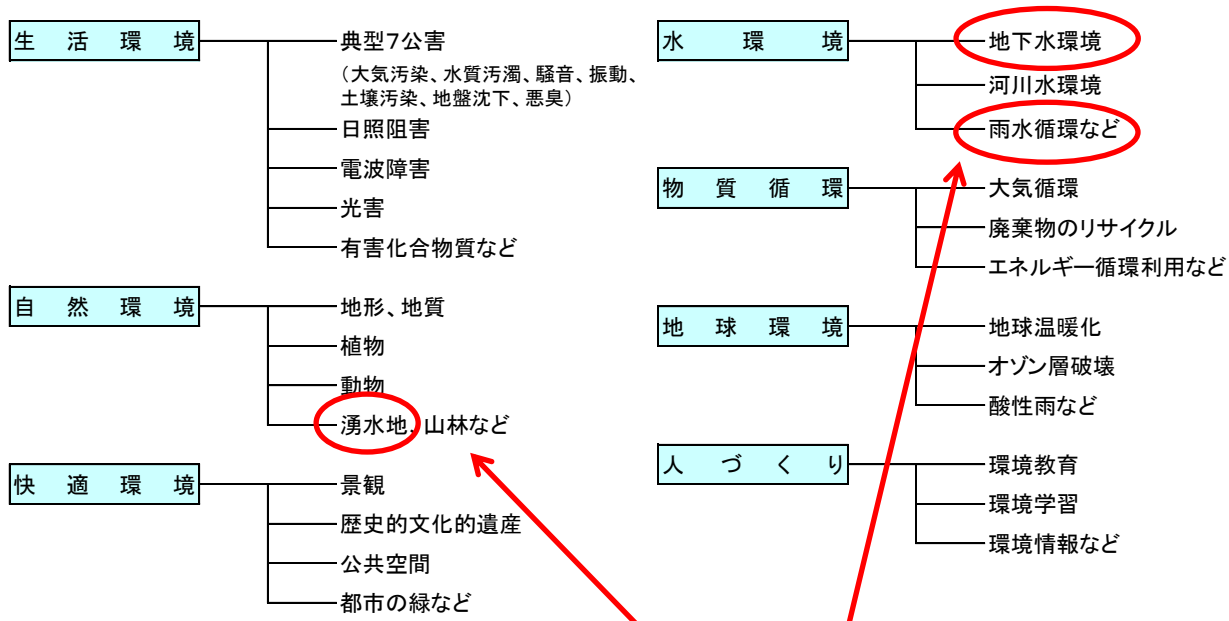


※大野市環境基本計画は、2000年から30年後の2030年における都市像を展望しながら策定

○検討項目

「目的」 「対象地域」 「対象とする環境の範囲」 「目指すべき環境像」 「施策の基本方針※」 等 (※市環境基本条例第8条)	⇒継承する
「基本テーマ」 「基本的施策」 「重点プロジェクト」 等	⇒国・県の広域計画や本市の関連計画、各種政策と整合を図り、審議会の中で検討していく。

○対象とする環境の範囲



水循環・湧水文化再生計画 (R2 策定予定) にて基本方針や具体的な施策を検討

■ 検討方針

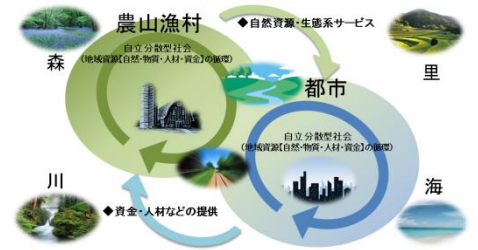
- ・第六次大野市総合計画（R2 策定予定）との整合性を図る

- ・県、国、世界の動きを把握し、先進的な流れを取り込む
 世界：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ（2015 年）
 …持続可能な開発目標（SDGs）
 パリ協定（2016 年）…2020 年以降の温暖化対策の国際的枠組み
 国：第五次環境基本計画（2018 年 4 月）
 県：福井県環境基本計画（2018 年 3 月）



- ・SDGs の手法を取り入れるとともに、SDGs のゴール、ターゲットを意識する
- ・地域循環共生圏の創造を目指す
- ・ポイントを押さえて、できるだけ簡潔に市民にわかりやすい計画に
- ・市民がみんなで楽しく取り組めるような内容に
- ・若年層の意見を反映

地域循環共生圏



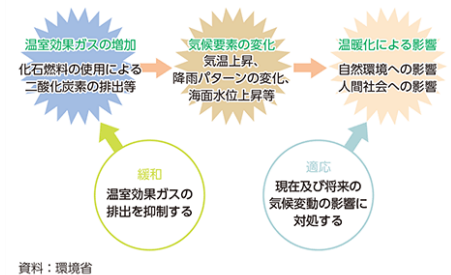
出典：環境省 HP

■ 第三期計画に考慮すべき事項

①地球温暖化対策の推進

- ・温室効果ガス排出量削減目標の設定
 目標年度：2030年度
 基準年度：2013年度
 削減目標：28%（基準年度比） ※県環境基本計画に準ずる
- ・気候変動の影響への適応策の推進
- ・県民運動「LOVE・アース・ふくい」の推進
 家庭部門の省エネ行動（COOL CHOICE）の実践について普及啓発
- ・防災、減災の観点から見た環境対策
 昨今の異常気象の一因となっている地球温暖化への対策
- ・市の事務・事業における温室効果ガス排出削減
 大野市環境マネジメントマニュアル（大野市役所地球温暖化対策実行計画）の見直し

気候変動と緩和策・適応策の関係



資料：環境省



②循環型社会の推進

- ・一般廃棄物の 3 R 促進
 ごみの分別排出強化によるリサイクル率の向上とごみの減量化
 プラスチックごみの削減
- ・食品ロスの削減
 「おいしいふくい食べきり運動」の強化
 （※食品ロス：食べられるのに捨てられてしまう食品）
- ・廃棄物の不適正処理防止
 県と連携したパトロールの継続
 不法投棄頻繁地への監視カメラの設置
- ・バイオマスの利活用

③自然との共生

- ・自然とふれあう活動の推進

環境月間（6月）や自然に親しむ運動（7月21日～8月20日）などにおける自然環境保全の呼び掛け
星空を活用した取り組み

- ・生物多様性の保全

外来生物が生態系や農作物などに及ぼす被害と効果的な防除方法についての周知
ブルーギルやオオハングソウなどの特定外来生物の駆除
高病原性鳥インフルエンザの発生監視と市民への情報提供

④生活環境の保全

- ・光化学オキシダント、PM2.5による大気汚染時の迅速な対応

- ・油類や有害物質の流出による環境汚染事故への迅速な対応（国、県など関係機関との連携強化）

- ・野外焼却禁止の徹底（行為者への指導、市民への周知）

- ・災害廃棄物処理対策

⑤環境教育

- ・家庭での省エネ行動（COOL CHOICE）の実践

- ・家庭でのごみ減量化の実践（食べきり運動、紙ごみ分別、プラスチックごみ削減）

- ・自然体験や環境学習等の情報提供及び実践

⑥近い将来の大野市における大きな変化

- ・道の駅「越前おおの 荒島の郷」の完成（令和3年度予定）

- ・中部縦貫自動車道の延伸（令和4年度末の全線開通を要望中）

道の駅「越前おおの 荒島の郷」外観パース



【中心的な機能】

- ① 越前おおのが育んだ食の市場
- ② モンベルと拓くアウトドアの拠点
- ③ 名水と城下町をはじめとする
観光案内所
- ④ 大規模災害に備える防災拠点